

(写)

21 日 獣 発 第 124 号
平成 21 年 8 月 18 日

厚生労働省
医薬食品局長 高 井 康 行 様

社団法人 日本獣医師会
会 長 山 根 義 久

公衆衛生公務員獣医師の人材の確保等について（要 請）

畜水産食品の安全性の確保をはじめ、人と動物の共通感染症対策(以下「共通感染症」という。)等の公衆衛生関連施策の推進につきましては、日頃からご尽力をいただいておりますこと、厚く御礼申しあげます。

さて、近年における世界経済のグローバル化の進展等に伴い、輸入食品の安全性確保はもとより、腸管出血性大腸菌やカンピロバクターなどによる食中毒対策、そして狂犬病をはじめ高病原性鳥インフルエンザに代表される新型インフルエンザ等の共通感染症対策、更には人と動物の共生社会の構築を推進する上において、動物愛護・福祉をはじめ自然環境対策の充実が重要課題となっており、公衆衛生・環境行政を推進する上における動物医療専門職としての獣医師及び動物医療の果たす役割への期待が従来にも増して高まってきているところでありますが、近年、多くの地方自治体において公衆衛生部門に勤務する獣医師専門職職員（以下、「公衆衛生公務員獣医師」という。）の確保が困難な事情にあるのは御案内のとおりであります。

このような事情を踏まえ、本会においては、事業運営機関である公衆衛生部会の公衆衛生委員会（委員長：森田邦雄日本獣医師会理事）において、「公衆衛生公務員獣医師の職域確保と人材の誘導」を課題に協議・検討を行い、公衆衛生公務員獣医師の就業状況の現状と課題について整理するとともに、課題に対する対応の方向性等を別添報告書として取りまとめたところです。

つきましては、貴省におかれては、別添の報告内容をご理解の上は、今後とも公衆衛生行政推進における公衆衛生公務員獣医師の職域の確保と人材養成にご尽力いただくとともに、特に下記の事項について都道府県関係当局へのご指導を含め、特段のご高配を賜わりたく要請します。

記

- 1 獣医学教育課程における獣医公衆衛生学教育に対する支援について
 - (1) 獣医学教育課程の学生を対象とした獣医公衆衛生学の実務教育に対するキャリアを積んだ公衆衛生公務員職員の講師派遣の推進
 - (2) 獣医学教育課程の学生の公衆衛生行政職場体験(インターンシップ)の受け入れの拡充
- 2 公衆衛生公務員獣医師の職務環境の整備と人材養成について
 - (1) キャリアアップ体制の整備
 - ア 公衆衛生行政において重要な要素である疫学調査の充実を図るため、国立感染症研究所及び保健医療科学院が実施している実地疫学専門家養成コース等への積極的な参加
 - イ 国・地方自治体が実施する獣医公衆衛生関係学術集会、日本獣医師会の日本獣医公衆衛生学

会等の学術団体による学会での積極的な発表

ウ 調査研究実績を踏まえた学位取得を促進するための環境整備

エ 保健医療科学院が実施している各種研修(食肉衛生検査研修、食品衛生管理研修、食品衛生監視指導研修)の充実及び積極的な参加

(2) 職場環境の整備

育児休暇、介護休暇、研修参加休暇などの取りやすい環境作りと、これを推進するための公衆衛生公務員獣医師退職者を活用した人材バンクの設置などの検討

(3) 処遇の改善

ア 保健所所長を含め、公衆衛生関係機関における公衆衛生公務員獣医師の監督管理職ポストへの登用の推進

イ 公衆衛生行政分野と家畜衛生、環境行政分野等の公務員獣医師関係職域間による人材交流や公務員獣医師の再雇用の推進等による公務員獣医師の配置の偏在化の解消

ウ 医師等の他の医療関係専門職と均衡に配慮した公衆衛生公務員獣医師の処遇の確保

注：厚生労働省健康局長にも上記と同様内容を要請